

第3回 (昭和47年)



きむら りょうへい
木村 龍平 氏

生年月日 大正9年7月7日生

住 所 田辺市下屋敷町

大正9年(1920年)7月、西牟婁郡生馬村(現西牟婁郡上富田町生馬)に生まれる。
満州国林務局に勤務、昭和17年(1942年)、東安省平陽附近でイペリット性能試験中の爆発により失明。戦後、鍼灸師を開業し、田辺鍼灸師会の運営に努め、県下にさきがけて紀南盲人福祉協会を結成。白ステッキの無料配布を叫び、点字教室や教養講座を多数開く。

昭和33年(1958年)、世界盲人文芸コンクールに小説「七夕」を応募、第一席に入賞。同39年(1964年)、論文『自立の正三角錘方式論』が最高入選。

その他論文入賞多数。点字図書翻訳、点訳指導等にあたるなど更生援護に尽力。

厚生大臣表彰、全国盲人大会岩橋賞。和歌山県文化奨励賞。和歌山県身体障害者連盟会長、和歌山県盲人会会長、全国盲人会連合顧問。